一般会計補正予算（第１号）

主な事業 歳入歳出15億2,416万1千円

●学校施設整備事業（小学校）	69,945千円
●学校施設整備事業（中学校）	12,842千円
●学童保育事業	30,906千円
●道路維持補修事業	30,549千円

全員協議会開催

・第５次吉川市総合振興計画の策定経過について

行政視察に来庁

●７月27日（火）

・八潮市議会　２人

・図書館の指定管理について

●８月17日（火）

・宮代町議会

・民主の会・みんなの会　４人

・図書館の指定管理について

議員研修会が開催されました

●埼玉県市議会議長会第４区議長会（構成：埼玉県東南部11市、会長＝吉川市議会議長）による議員研修会が７月28日に吉川市中央公民館にて開催され、吉川市からは20人全員が出席しました。

明治大学政治経済学部　牛山久仁彦教授による講演「地方議会の役割と課題」―地域主権改革で求められる議会のかたち―

●南部正副議長会（構成：三郷市・八潮市・松伏町・吉川市）による議員研修会が10月５日松伏町田園ホール・エローラにて開催され、吉川市からは15人が出席しました。

（株）桝一市村酒造場　代表取締役　セーラ・マリ・カミングス氏による講演「地域文化を生かしたまちづくり」

議員提出議案

意見書

今定例会では次の３件を可決し、内閣総理大臣等へ提出しました。（一部抜粋）

21世紀型の公共投資の推進による景気対策を求める意見書

地方の雇用拡充と内需振興を図る景気対策のために、真に必要とされる以下のような21世紀型の公共投資について、予算確保と執行を強く求めます。

１　学校など公共施設の耐震化に積極的に取り組み、雇用の拡充と地方経済の活性化を図ること。

昭和43年建設の市役所

２　太陽光発電の設置や、介護施設の拡充といった21世紀型の公共投資を着実に促進し、内需の振興を図ること。

３　老朽化した施設の計画的な更新・大規模修繕を積極的に推進し、地域生活の安全と地域振興に取り組むこと。

介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書

１　平成37年（２０２５年）までに『介護施設の待機者解消』を目指す。そのために、介護３施設および有料老人ホームなどの特定施設やグループホームを大幅に増設する。

２　在宅介護への支援を強化するために、24時間３６５日訪問介護サービスへ大幅な拡充を行うほか、家族介護が休息をとれるよう「レスパイト（休息）事業」も大幅に拡大する。

３　介護現場の意見を生かし、煩雑な事務処理の仕分けを行い、手続きならびに要介護認定審査を簡素化し、すぐに使える制度に転換する。

４　介護従事者の大幅給与アップなどの待遇改善につながる介護報酬の引き上げを行う。

５　介護保険料の上限が高くなりすぎないように抑制するため、公費負担割合を引き上げる。

選択的夫婦別姓制度導入のための民法改正に慎重な対応を求める意見書

家族・家庭の維持より個人の利便が優先する自己中心的な社会となれば、祖先より子孫へというつながりを大切にする精神的伝統は断絶し、高齢者の介護や親族間の扶養義務の思いも薄まり、自分さえよければよいという空気が蔓延し、民族の伝統文化は急速に変質することが憂慮されます。

日本のよき「和」の文化、みんなで支えあう意識を守り、国・地域の繁栄と平和な生活と共栄を願う立場から、国においては「夫婦・親子同姓」制を堅持するため、選択的夫婦別姓導入のための民法改正においては慎重に対応することを強く要望します。